



吉母 会報 5

吉母海水浴場（下関市）



令和4年度第4回本部研修会



銀行担当者向け研修会



2022県内進学・仕事魅力発信フェアinやまぐち



土地家屋調査士ガイダンス



CONTENTS



No.142-2023

5

山口地方法務局長着任挨拶	山口地方法務局長 中島 仁志	1
令和4年度第4回本部研修会（ウェブ研修）の報告	業務部理事 阿川 哲雄	2
本会と公嘱協会との合同研修会・令和4年度第5回本部研修会（集合及びウェブ研修）の報告	総務部理事 米原 太一	3
令和5年度第1回本部研修会の報告	業務部理事 阿川 哲雄	4
銀行担当者向け研修会	広報部理事 荒川 猛	5
土地家屋調査士ガイダンス	広報部長 西村 暢夫	6
支部だより		
令和4年度第1回防府支部研修会の報告	防府支部支部長 越智 隆次	7
令和4年度第1回山口支部研修会の報告	山口支部企画委員 大森 淳一	8
令和4年度第1回萩支部研修会の報告	萩支部企画委員 上村 正洋	9
令和4年度第1回宇部支部研修会の報告	宇部支部副支部長 長畑 宏	10
「表示登記の日」無料相談会報告		
各支部無料相談会開催場所・相談件数		
平生会場	岩国支部 長井 龍夫	12
周南会場	周南支部理事 濱田 裕治	13
防府会場	防府支部副支部長 山根 良吾	14
山口会場	山口支部 荒木 進	15
長門会場	萩支部支部長 古江 直樹	16
宇部会場	宇部支部企画委員 村田 淳	17
下関会場	下関支部企画委員 中藤 敏志	18
2023仕事体験型県内進学フェア in やまぐちの報告	広報部理事 荒川 猛	19
下関工科高等学校出前授業の報告	下関支部副支部長 山田 篤志	20
事務所紹介	岩国支部 立山 良祐	22
	山口支部 益田 正規	25

事務局だより

広報部からのお知らせ

山口地方法務局長着任挨拶



山口地方法務局長 **中島仁志**

本年4月1日付け人事異動により、福岡法務局人権擁護部長から山口地方法務局長に着任しました「なかしま」と申します。

私は、岡山県出身で、岡山地方法務局に採用された後、これまでに東京局、水戸局、広島局、松江局、横浜局、そして前任の福岡局で勤務し、この度の人事異動で山口局に勤務することになりました。当地での勤務は初めてとなりますので、どうぞよろしくお願ひします。

さて、令和5年度の法務局関係予算では、現下の厳しい財政事情の中にあって、登記所備付地図作成経費を始め、筆界特定制度実施経費や所有者不明土地問題対策経費など法務局の重要施策のための経費は、ほぼ要求どおり確保されました。本年4月27日から相続土地国庫帰属制度が始まり、令和6年4月1日からは相続登記の申請義務化が施行されることとなっています。これらの制度を着実に推進し、国民の皆様の期待と信頼に応えていくことは、法務局の重要な責務であると考えております。

会員の皆様におかれましては、日頃から、不動産の表示に関する登記制度の適正かつ円滑な運営に御支援と御協力を賜り、また、オンライン登記申請の利用促進、登記所備付地図作成作業や表題部所有者不明土地解消作業につきましても会員の皆様に御協力いただいているところであり、紙面をお借りして深く感謝申し上げますとともに、今後予定される

新たな制度を含め、法務局における各種施策について、一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

さらに、当局におきましては、これらの事業に加え、当局特有の課題として、地図未整備地区の解消という課題があります。この課題への取組は、会員の皆様の御支援と御協力がなければ達成できるものではありませんので、引き続き御支援及び御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴会の益々の御発展と会員の皆様の一層の御繁栄と御健勝を記念いたしまして、着任の挨拶とさせていただきます。

本部研修会報告

令和4年度第4回本部研修会（ウェブ研修）の報告

業務部理事 阿川哲雄

日 時：令和5年1月13日（金）
13：30～15：50
場 所：Web研修（配信ソフト：Zoom）
内 容：不動産表示登記事務取扱要領の改正・地積測量図の作成方法について
講 師：山口地方法務局不動産登記部門
藤原研治総括表示登記専門官
参加者：会員95名 補助者1名 合計96名

新型コロナウイルス感染症の影響で、今回の研修もWeb研修となりました。まず、杉山浩志会長の挨拶から始まり、藤原研治様から挨拶、本日の研修の説明、配布資料の確認から以下の内容で研修が行われた。

第1部

内容：A. 連絡事項 法務局から山口県土地家屋調査士会と共有すべき情報

1. 法務局における所有者不明土地に関する各種施策等について
2. 登記所備付地図作成業務について
3. その他

内容：B. 昨年10月に施行され改正された、不動産表示登記事務取扱要領の内容柱になる次の3つの経緯があった。

1. 令和4年4月に筆界確認情報の取扱の大きな方向性が示されたこと。
2. 令和4年5月にGNSSを用いたネットワーク型RTKによる単点観測に基づく地積測量図の取扱の方針が示されたこと。
3. 令和4年6月に登記基準点測量マニュアルが示されたこと。

B-2.については、今後技術の進歩や、社会情勢の変化等に応じ、柔軟に対応するため

の不動産表示登記事務取扱要領の改正でもある、とのことだった。

第1部では、今後登記官の方で境界確認業務を積極的に進めて行くことへの方向性を示されました。そのことが、土地家屋調査士業務への追い風となることを期待してやみません。

第2部

内容：第1部のB-2に特化した、ネットワーク型RTK法による単点観測法に基づく地積測量図の取扱等

GNSSを使用して測量を行った場合は、従来不動産登記規則第77条第2項の位置づけの「任意座標による」扱いの地積測量図だったものが、今回示された地積測量図や調査報告書に記載すべき測量方式（スタティック法、ネットワーク型RTK法等）の要件を満たすことができれば、同第1項の「世界測地系による」ものと扱うことができる旨を紹介された。

研修終了後、質問は無かったが、当月中であれば事務局へFAXかメールを送れば対応が可能、ということだった。

最後に井上副会長からの挨拶で、「藤原様には今後とも1年でも長く山口地方法務局にいていただき、私達とタッグを組んで国民の生活の安定と向上に資するために共に頑張っていきたい。ありがとうございました。」という謝辞がありました。

講師の藤原様、役員の皆様、Web研修の準備に参加して下さったIT委員会の皆様、事務職の皆様に感謝申し上げます。



本会と公嘱協会との合同研修会・第5回本部研修会（集合及びウェブ研修）の報告

総務部理事 米原太一

日 時 令和5年1月25日（水）
13：30～15：00
場 所 集合 山口グランドホテル
鳳凰の間
Web（配信ソフト：Zoom）
研修内容 インボイス制度への対応について
講師：税理士 森下靖也氏
参加者 会員73名（集合17名、ウェブ56名）

今回の研修会は公嘱協会と合同の研修会でした。

まず公嘱協会八田理事長の挨拶、続いて本会杉山会長の挨拶と始まり、本題のインボイスについて、静岡で事務所を開業されている税理士の森下靖也先生に解り易く講義していただきました。

まず基本的な消費税のしくみ、例えば売上1,000万円以下は免税事業者、それ以上は課税事業者になること等、土地家屋調査士事務所を経営していく上では知っておかなければならないことから始まり、消費税の計算方法についても本則課税、簡易課税と2種類があり、一般的な土地家屋調査士であれば簡易課税の方が良いのではないかと、といったことを丁寧に説明していただきました。

続いて、いよいよ本題のインボイス制度に

ついての解説です。

インボイス制度は、本年10月1日より導入されること、発注者の求めに応じてインボイスの発行が必要なことなど我々がほんやりとしか理解していないことを解り易く解説していただきました。

土地家屋調査士業務を行うに当たってインボイスの登録をしていないと、請求先が課税事業者である場合、消費税額相当の値引きを求められたり、最悪、取引を終了させられたりする可能性もあるとのことでした。

また公嘱協会については、登録を行っていないと、業務処理費への影響が大きいこともあるとのことでした。

以上のような講義を聞いて、やはりインボイスの登録はこれから業務を行っていく上で絶対に避けては通れない必須事項だと実感しました。

最後に、集合、Web両方に対応する研修会を開催していただき、ご準備等も大変だったこととお察しします。森下先生をはじめこの研修会に携わった公嘱協会、本会の皆様に厚く御礼申し上げます。素晴らしい研修を開催していただきありがとうございました。



令和5年度第1回本部研修会の報告

業務部理事 阿川哲雄

日時：令和5年4月14日（金）
13：30～16：30
場所：山口県労働者福祉文化中央会館
（労福協会館）4F大会議室
内容：筆界特定の現状と課題
講師：大阪土地家屋調査士会
境界問題相談センターおおさか
運営委員 西田 寛先生
参加者：会員57名 他会会員2名、補助者2名 合計61名

事前に業務部担当井上副会長と大下部長が大阪に行き講演のお願いをしていたほどの著名な講師からの講演の快諾をいただいていたので、今回は集合型のみの生の研修にこだわりました。講師からは事前に大量の資料をご用意いただき、杉山会長の「・・・一句一語逃さない・・・」という旨の挨拶からも、貴重な講師をお招きしたことへの緊張感と期待度を伺うことができました。西田先生からは、大阪弁を交えた挨拶から始められ、以下の内容で研修が進められました。

内容：筆界特定の現状と課題

1. 全国もしくは大阪での筆界特定事情

2. 筆界特定における研修方法
- 3-A. 筆界特定とADRとの連携について
- 3-B. 筆界特定と裁判との連携について
4. 筆界特定後の処理について
5. 筆界特定申請に馴染まない案件について
6. 筆界特定申請における注意点について

内容：令和元年度の第3回本部研修会のグループ討論課題についての見解と、令和5年3月20日の事務連絡の補足説明

講師は細身でおられながらも、パソコン操作の机とプロジェクターに映し出されたスクリーン間を指示するために何度も早歩きで往復されたり、後半になるほど、よく通る声のトーンは高くなる一方で、荒川会員からの質問にも丁寧にお答えいただきました。大下部長の閉会の言葉にも力がこもってましたし、帰り際には多くの会員からの感嘆（あるいは絶賛）の声も耳にしました。このような感想を確認できたことは、一業務部理事冥利に尽きます。

講師の西田先生、役員・事務局・参加者の皆様、ありがとうございました。



銀行担当者向け研修会

広報部理事 荒川 猛

1. 日 時：令和5年2月20日（月）
16：00～17：00

会 場：西京銀行 本店（周南市）
銀行参加者：営業担当11名

2. 日 時：令和5年3月6日（月）
16：00～17：00

会 場：山口銀行 徳山支店
銀行参加者：営業担当19名

このセミナーは、主要取引先でもある金融機関に土地家屋調査士の業務をより深く知ってもらうために企画し、今年は周南市の大手銀行2社が呼びかけに応じて頂き、セミナーを実現することができました。山口会としては初めての試みだったため、試行錯誤してパワーポイントの資料を用意しました。セミナーの司会進行役は西村暢夫広報部長が担当し、講師役は乗川慎二副会長が担当しました。

セミナーの内容は大きく分けて下記のポイントについて講義しました。

1、土地家屋調査士の業務について

2、建物表題登記についての注意点

3、土地地目変更登記についての注意点

4、土地分筆登記、地積更正登記についての注意点

建物表題登記は銀行の融資担当者も興味のある話題なので、建物認定ができる建物、できない建物を写真で紹介したり、建築基準法の床面積の計算方法と不動産登記法の床面積の計算方法の違いについて講義したりしました。

大手金融機関の2社に土地家屋調査士の業務を知って頂き、他の関連他士業との違いをアピールする事ができたと思います。

今後は土地家屋調査士業務と深く関係性のある金融機関や不動産関連業種へのセミナーを提案し、セミナーを通じて土地家屋調査士業務を広く知ってもらう活動を続けていきたいと思っています。

最後に快くセミナーの呼びかけに応じて頂いた西京銀行本店様、山口銀行徳山支店様に深く感謝申し上げます。



土地家屋調査士ガイダンス

広報部長 西村暢夫

日 時 令和5年3月19日（日）
13時00分～

場 所 山口県土地家屋調査士会館

内 容 土地家屋調査士業務について
土地家屋調査士試験についての
経験談・開業後のサポート
個別面談（希望者）

参加者 6名

令和5年3月19日に山口県土地家屋調査士会では、初の試みとなります土地家屋調査士ガイダンスを行いました。近年、土地家屋調査士の会員数が減少傾向にあるため、土地家屋調査士資格の周知、土地家屋調査士の受験者数の増加、調査士会の会員数の増加を目的としてこのガイダンスを行うことになりました。

まず、始めに乗川慎二副会長より土地家屋調査士業務についての説明をして頂き、次に荒川猛理事より試験の体験談についてのお話をして頂きました。

参加者6名のうち、半分は補助者で土地家

屋調査士の実務に携わっている方で、残りの半分の方は、一般の方で県外から来られた方もおられました。

荒川理事の試験の体験談は、試験勉強で工夫したことや、試験当日の試験に臨むまでの過程など説明して頂きました。そのあと、休憩をとって個別面談に入る予定でしたが、荒川理事の説明の流れからそのまま荒川理事が持参しました試験勉強で書いた書式等の資料を、興味ある参加者が見ていろいろ質問されていました。

このガイダンスを行うにあたり、申込者が果たして何名いるのか不安な面もありましたが、6人も集まり、良いガイダンスになったと思います。

なお、このガイダンスのために東京法経学院の立石社長もお越し頂き、参加者に応援メッセージを言っておられました。

土地家屋調査士の会員数の増加のため、今後も何年かに1度は、この土地家屋調査士ガイダンスを行っていきようにしたら良いと思います。



支部だより

令和4年度第1回防府支部研修会の報告

防府支部支部長 越智隆次

日 時 令和5年2月18日（土）
午後2時～午後5時
会 場 ニューロンドン（パリ3区店）
参加者 支部会員12名 補助者3名

先日、防府支部では支部会員および補助者を対象として令和4年度第1回支部研修会を開催しました。

コロナ禍の影響もあり支部会員を集めての研修は久しぶりだったことと、私自身、支部長の立場で研修会を開催するのは最初で最後になってしまうことを思うと、何やら感慨深いものがありました（笑）。支部活動も少しずつコロナ禍以前の状態に戻していければと考えています。

肝心の研修内容についてですが、一部では「調査士業務での悩み事解決」ということで松田幹央企画委員が進行役として、日常業務で直面する悩み事について、事例をあげて会員間で意見交換をしました。

今回は、松田会員が土地の境界調査に関する事例を3つ用意し、その事例に対して「自分ならこう対応する」という意見を参加者から引き出し、それについて会員間でディスカッションするというものだったのですが、防府支部のベテラン調査士が多数研修に参加していたため、経験に基づいた貴重な意見を聞くことが出来たので大変参考になりました。こういった内容の研修は、今後も定期的に続

けていこうと思います。

二部では前田祐史企画委員が講師を務め、「土地建物調査への3Dスキャナーの活用」、「G空間情報センターよりダウンロードが可能になった法務局地図データの活用方法」について紹介していただきました。

iPhone搭載モデルのアプリを利用して、高価な機材を利用せずに現場の状況をスマートフォンで立体的に記録できるというものでしたが、これまで紙にスケッチしたり写真を撮影して記録していたものが、立体的なデジタルデータとして簡単に取り込めることから、活用すれば調査の省力化につながると思います。

また、令和5年1月23日からG空間情報センターから無償ダウンロードが可能になった法務局地図XMLデータの利用方法や、XMLデータを開けるフリーソフトの紹介をしていただきましたが、これも日常業務の省力化につながる可能性があると感じました。

今回の研修会は企画委員である前田会員、松田会員が防府支部の再始動のためにアイデアを出し合って実現しました。両名の尽力により大変中身の濃い研修会になったと思います。前田会員、松田会員ありがとうございました。

今春には支部役員の改選がありますが、新体制のもと少しずつ支部活動を活発にしていきたいと思っています。



令和4年度第1回山口支部研修会の報告

山口支部企画委員 大森淳一

日 時：令和5年3月7日（火）
15時～17時
会 場：山口市湯田温泉五丁目5番22号
サンフレッシュ山口・山口勤労者総
合福祉センター
出席者：20名
内 容：第1部 不動産表示登記事務取扱要
領の改正について
第2部 日常業務の疑問点について
（座談会形式）
講 師：山口地方法務局不動産登記部門
藤原研治総括表示登記専門官

今回は法務局より藤原研治総括表示登記専門官を講師としてお迎えし、不動産表示登記事務取扱要領の改正について研修を行いました。以前本部研修において、このテーマの研修が行われましたが、土地家屋調査士にとって非常に大切なテーマなので再度研修を行い理解を深めることと、日常業務にどのように生かすかという知識を深めるために行いました。

初めに藤原登記官より現在の状況や新たな制度のご紹介がありました。まずは所有者不明土地の解消作業。東日本大震災の仮設住宅を適当な場所に建築したいが所有者が不明のため建築工事が遅れたり、水害の堤防修理においても同様なケースが見られたとのことから人の命にかかわるかもしれない非常に重要な作業だと感じました。次に相続土地国庫帰属制度についてのお話で、建物は解体しないといけないなどハードルが色々あるが、この制度は申請の代理人制度が無いとのこと。しかし、内容的にも土地家屋調査士は欠かせないので事案があれば相談にのってあげて欲しいとのことでした。また、相続登記の義務化にも力をいれており土地家屋調査士も告知に協力してほしいとのことでした。法務局と土地家屋調査士は両輪であり良い協力関係が必要とのことでした。

次に改正点の説明があり、筆界確認書の今後の位置づけやGNSS測量における測量図の

作成方法を再度行って頂きました。それに絡めて第2部では座談会方式で日常業務の疑問点などを質問し、藤原登記官からお答え頂くとともに会員からも意見をつのりました。やはり具体的な事案のためか大いに盛り上がったと思います。

普段の通常業務における改正や、色々な新たな制度がスタートしたりと、土地家屋調査士として日々研鑽を積むことが大切だと感じた研修会でした。

最後に、期末の多忙の時期にもかかわらず、お時間を割いて頂きました藤原研治総括表示登記専門官に感謝いたしまして山口支部研修会の報告とさせていただきます。



令和4年度第1回萩支部研修会の報告

萩支部企画委員 上村正洋

日時 令和5年2月17日（金）

15：30～17：00

場所 山口地方法務局 萩支局

地下1階会議室

研修内容

【第1部】15：30～16：15

山口地方法務局 萩支局との意見交換

講師 統括登記官 町田圭司

【第2部】16：15～17：00

登記多角点観測について

講師 株式会社 諏訪

代表取締役 前田拓史

令和4年度の第1回萩支部研修会が萩支部会員7名・補助者6名の参加により行われました。

第1部の研修内容として普段から行う登記業務に関する問題点を事前に各会員が質問を考え取りまとめた上で、統括登記官に答えて頂く形式で行われました。大きく分けて5つの質問に対して統括登記官から回答が行われ、昨今のコロナ禍で対面した状況で行う事が出来なかったですが、今回の意見交換でなかなか活発な意見が言い合える状況であったので、今回の意見交換によって各会員の業務

にも役に立つ研修であったのではないかと思います。スムーズな登記業務の事務処理効率化を考えた統括登記官からの要望もあり、その事を各会員が踏まえた上で登記申請を行えば、今後の登記事務処理も迅速に行って貰えるのではないかと思います。

第2部の研修内容では、登記多角点観測についての内容で、一部の取り扱いが変わったネットワーク型RTKにより単点観測法による地積測量図作成に必要な与点・新点の観測方法及び点検観測のやり方でした。近年では新設する登記多角点をGPSによる基準点観測が主流になりつつある状況の中で、実際の地積測量図に記載する為の現地での観測方法や点検の仕方を充分理解した状況で行わないといけないと考えさせられました。

私は支部の研修に初めて参加させて頂きましたが、今後もいろいろな研修や企画を考え参加される方々と共に勉強していきたいと思っています。

お忙しい中にも関わらず、講師を担当頂いた町田圭司統括登記官及び前田拓史様には心より感謝申し上げます。

参加された調査士会員・補助者の皆様お疲れさまでした。



令和4年度第1回宇部支部研修会の報告

宇部支部副支部長 長畑 宏

日 時 令和4年12月2日（金）
16：30～18：15
場 所 ヒストリア宇部 2階第4交流室
内 容 第一部 山林絵図・調査等、相続・戸籍等について
講 師 藤永幸成先生
第二部 意見交換会
参 加 者 24名

コロナの影響でしばらく間が空いておりましたが、師走に入った金曜日の午後開催をいたしました。

今回の研修につきましては、「山林絵図・調査等、相続・戸籍等について」というテーマで講義をいただきました。19世紀の戸籍帳から平成のデジタル化に至るまでの歴史的背景などのお話もあり短時間ではありましたが内容のあるものでした。最後に質疑応答・意見交換の時間をとっていましたが、活発な意見交換が行われておりました。終了後は場所を変え久しぶりの忘年会ということで、そこでも会員同士の親睦をはかりながら無事有意義な週末の夜を終えました。

最後になりますが、当日は狭い研修室に多くの先生方の参加をいただいた結果、些か密になってしまいました。想定外とは言えお集りの皆様にはご迷惑をおかけいたしました。

「表示登記の日」 無料相談会報告

「表示登記の日」 無料相談会開催場所・相談件数

日時	場所	件数
令和5年4月1日(土) 10:00~12:00 13:00~15:00	平生まち・むら地域交流センター 2階視聴覚室 熊毛郡平生町大字平生村178番地	2
令和5年4月3日(月) 10:00~15:00	山口地方法務局周南支局 3階会議室 周南市周陽二丁目8番33号	1
令和5年4月1日(土) 9:00~15:00	サンライフ防府 2階研修室2 防府市八王子二丁目8番9号	3
令和5年4月3日(月) 9:00~15:00	山口県土地家屋調査士会館 1階ロビー 山口市惣太夫町2番2号	15
令和5年4月3日(月) 10:00~15:00	長門市中央公民館 長門市東深川1326番地6	0
令和5年3月26日(日) 10:00~15:00	フジグラン宇部 1階通路 宇部市明神町3丁目1番1号	12
令和5年4月3日(月) 9:00~15:00	下関市役所 1階ロビー 下関市南部町1番1号	1
合計		34

平生会場

岩国支部 長井龍夫

日 時 令和5年4月1日（土）
場 所 平生まち・むら地域交流センター
相 談 員 2名
相談件数 2件

岩国支部柳井地区では毎年表示登記の日の相談会を4月1日に開催していますが昨年、田布施町で開催したので今年は平生町で開催しました。毎年の恒例行事ですが相談者の人数が気になります。

数年前に相談者の来訪が多く同時に2部屋で対応し、次の方をロビーで待って頂いた時もありました。

逆に来訪者が少ないと少し残念な気持ちになります。

今年の相談者は2名でした。

1件目の相談は自宅の一部取壊しに伴う建物表題変更登記と亡き親の相続登記を自分でしたいけど、どのようにしたらよいか？

回答として相続登記については法務局あるいは司法書士に相談する事を進め、一部取壊

しに伴う建物表題変更登記については申請及び建物図面の作成方法をあらかじめ説明し、最後になかなか困難な作業になる事を付け加えました。

2件目の相談は自宅と自宅の裏山の境界が国土調査で確定しており、市役所で地図と1筆座標値等の資料を取得したが現地の境界杭が全て亡失しており隣地との境界が明白でない。との事で、境界の復元測量を土地家屋調査士に依頼した時、費用と日数がどのくらい掛かるのか知りたい。という質問内容でした。

回答として、地図をお持ちでしたので一般的な判断をし、大まかな作業日数と費用をお教えし、実際には現地を確認し、登記簿資料等の調査をしなければならない事を付け加えました。

相談会終了後に会員同士の打ち合わせをし（反省会）、今年の表示登記の日が終了しました。



周南会場

周南支部理事 **濱田裕治**

日 時 令和5年4月3日（月）
午前10時～午後3時

場 所 山口地方法務局周南支局3階会議室

相談員 5名

相談件数 1件

山口地方法務局周南支局にて、表示登記の日無料相談会を開催しました。

当日は花見日和の天候・気候ともに良好の中、午前中1組のみの来場となりました。相談内容は以下のとおりです。

- ・長崎県五島市の自己所有土地にて行われた地籍調査について、面積が少なくなってお

り納得ができないため、筆界未定としたい（山口県下松市在住）。

面積が少なくなることにより納得できないとのことでしたが、境界については概ね納得しているようで、面積が増減することについて、筆界未定になることのデメリットなどを説明し、また相談者のため込んでいた思いを吐き出すことができた様子でもあり、相談員の対応・説明に満足いただいたと思います。

例年に比べ来場が少なかったですが、相談会の合間に情報交換や業務相談等を行うことができ、有意義な時間を過ごすことができました。



防府会場

防府支部副支部長 山根良吾

日 時 令和5年4月1日(土)
午前9時～午後3時
場 所 サンライフ防府2階
相談員 9名(午前5名、午後5名)
相談件数 3件

桜も丁度満開となった相談会当日、天候にも恵まれ穏やかな気候の中、例年通りの会場にて相談会を開催しました。相談件数は合計3件で、3件とも午前中にお越しになられました。

相談内容

- ・分筆登記を依頼した土地家屋調査士と境界の認識に相違がある
 - ・相続に関する名義変更と敷地境界が不明瞭なのでその対策
 - ・工事により自宅への通路が狭くなってしまったのでどうしたらいいものか
- といったものでした。

いずれも直接的な解決策を提示できる案件ではありませんでしたが、今後の方針については具体的な回答も出来ましたので、相談者の方々には概ね満足いただけたように思います。

結果的に午後からの相談は0件ということで、寂しい思いもありましたが、例年通りのやり方を踏襲しては今後もあまり認知が進まないのではないかとという危機感も覚えました。

土地家屋調査士という資格そのものが世間からあまり認知されていないところもあるし、難しいねえ等と会員同士で話しながら、どうしたらいいものかと思案しつつ帰宅したところで、調査士業務に関わっていない妻から

「防府支部の広告は「表示登記の日」と言うだけで具体的な相談内容がピンとこないし、一般の人に寄り添えていない、何を相談していいかわからないと思うよ、もっとかみ砕いてあげないと」とバツサリ言われ、ハッ

とすることもありました。

一気に状況を変えていくことは難しいですが、この相談会には潜在的需要がもっとあるはずで、まずは一般の人にもわかりやすく伝わりやすい広報活動から考えなおしていきたいと思います。



山口会場

山口支部 荒木 進

日 時 令和5年4月3日 月曜日
午前9時から午後3時まで
場 所 山口県土地家屋調査士会館1階ロビー
相 談 員 2名
相 談 件 数 午前11件、午後4件 計15件

8時30分に会場設営を始めてすぐにお一人車で来られて駐車場で待っている男性がいらしゃったので、すこし開始時間を早めてご案内し、相談を開始しました。

最初はお一人だけだったので2名で対応していましたが、間もなく次の相談者が来られたので、2か所に分かれてそれぞれで相談を受けました。

それから後は12時30分まで途切れることなく相談者が訪れ、一時は3組の相談者に順番待ちしていただく状況でした。

相談者の年代は50～80歳代で、相続に伴う問題が多い印象を受けました。相続登記義務化による影響が相談数の増加に繋がったのかもしれない。

相談内容としては境界や家屋だけに留まらず、固定資産税・相続税・贈与税などの税金関連の相談や、権利登記についての相談、土地の相場や売買に関する不動産取引関連の相談など多岐にわたって、また組み合わせられているケースも多く、相談者の話をよく聞き、他土業の法令違反にならないよう注意しつつ、一般論として説明したり、相談先を案内するようにしました。

一方で、筆界確定や登記申請が必要と思われる事例については、あまり臆せず土地家屋調査士に依頼するようお勧めすることが出来ました。

ひっきりなしに相談者が来られて大変忙しかったのですが、相談者皆様にご満足・ご納得頂いた印象を受けたこともあり、とても充実した相談会となりました。



長門会場

萩支部支部長 古江直樹

日 時：令和5年4月3日（月）
場 所：長門市中央公民館 2階談話室
相 談 員：午前2名 午後2名
相談件数：0件

萩支部は4年ぶりに「表示登記無料相談会」を開催しました。

4年ぶりの開催でありましたので、忙しい1日になるのではと期待しておりましたが、終わってみると相談者0人という、いつもの萩支部でした。

これも萩支部会員の先生方が日々の業務において親身になって対応されている現れだと感じています。

今後は相談会の告知方法を工夫し継続していきたいと思います。



宇部会場

宇部支部企画委員 村田 淳

日 時 令和5年3月26日（日曜日）
午前10時から午後3時
場 所 フジグラン宇部
宇部市明神町3丁目1-1
相談員 午前 4名 午後 4名 計 8名
相談件数 午前 8件 午後 4件 計 12件

夜半からの雨天にもかかわらず、多くの来店者で賑わう商業施設・フジグラン宇部、その1階通路に相談会場を設置して、8名の会員が「表示登記の日」無料相談会を開催しました。

相談と対応の内容

1. Q：境界確認をしたい。
A：近くの調査士を紹介した。
2. Q：既登記の耕地番の土地が公図上に表記されてない。
A：相談担当者が調査して結果をお知らせすることにした。
3. Q：不動産の相続登記に期限はあるのか。
A：相続登記の義務化が来年に実施される旨をお伝えし、なるべく早期に登記されることを提案した。また、司法書士事務所にお尋ねされることをすすめた。
4. Q：境界とされている石垣の線と公図の線とに相違がみられる、この点をどう考えればよいのか。
A：公図の性質を説明した上で、現状のままでも良いのではないかとアドバイスした。
5. Q：宅地を分筆して、そこに親族が建物を新築したい。
A：接道の状況が明確ではなかったため、分筆位置については建築士に相談されるよう助言し、それが確定した段階で調査士にご依頼いただくようお願いした。
6. Q：固定資産税が非課税の土地があるがどうしてなのか。
A：下水用地の一部と宇部市が判断している可能性がある、宇部市税務課へお問い合わせいただくことをすすめた。
7. Q：相続登記の期限について。
A：3.の回答と同様。
8. Q1：隣地（道）の竹が所有地に侵入してきた、どう対処すればよいか。
A1：自治会長または宇部市役所に相談することをおすすめした。
Q2：所有する山林の所在が不明。
A2：地図等の資料がなければ、隣地所有者等にお聞きしてみてください。
9. Q1：宇部市外に在住する娘の義理の母所有不動産に関する管理の問題（その母は認知症）。
A1：娘夫婦に任せるべき。
Q2：上記不動産のうち、建物は老朽化しており取壊しが必要。工事に多額の費用がかかる。
A2：金融機関等に相談してください。
10. Q：相続した建物が10年くらい空き家になっている。進入路が狭いためか売れずに困っている。
A：不動産業者に相談してください。
11. Q：夫との共有名義の不動産があり、夫の名義を次男名義にしたい。どのようにすればよいか。
A：司法書士に相談することをおすすめした。
12. Q：居住中の不動産を売却して故郷に帰りたい。
A：不動産業者に相談してください。

今回は12件もの相談がありました。相談者の大半は、新聞記事で相談会を知って来所した、または通りがかりに立ち寄ったご高齢の方でした。

すべての相談内容が不動産に係るものであったものの、我々が回答できない相談内容も多くありました。業務に係る回答はもちろん、業務外の相談内容であっても他業種をお教えしたことで、相談者は満足されていたようでした。



下関会場

下関支部企画委員 中藤敏志

日時 令和5年4月3日（月）午前9時から午後3時まで
場所 下関市役所1階ロビー
相談員 午前 2名 午後 1名
相談者 午前 2名 午後 0名

下関支部では4月3日（月）の「表示登記の日」の無料相談会を下関市役所1階ロビーにて行いました。

結果から申しますと午前中に相談が1件でした。今回の相談は、相続及び相続に関連した税金の関係の相談で、調査士の業務とは直接関係はありませんでしたが、このような相談から不動産の相続に関連する調査士の業務に繋がることもありますので、今後も丁寧な対応を心掛けたいと思います。

現在、コロナ感染者は減っておりコロナ禍は終息しつつありますが、人流はコロナ禍前に比べると戻っていないように感じます。市役所ロビーもそれほど人通りは多くなかったように思います。そのような中で行った今回の無料相談会でしたが、相談件数1件という結果を踏まえ、今後の無料相談会のPR方法や開催方式を考えたいと思います。

この様な無料相談会を定期的に継続して行い、境界や表示登記に関する市民の方々の悩みを解決する一助になればと思います。

簡単ではありますが「表示登記の日」無料相談会の報告とさせていただきます。

2023仕事体験型県内進学フェアinやまぐちの報告

広報部理事 荒川 猛

1. 日時 令和5年2月14日（火）
10：00～15：00
2. 会場 維新大晃アリーナ（維新百年記念公園・スポーツ文化センター）
3. 主催 県内進学・仕事魅力発信フェア実行委員会

この行事は、県内の高校1・2年生を対象（来場者：約2000人）に、県内の大学や専門学校の魅力、さらには仕事や県内企業の魅力を伝え、若者の県内定住促進を図る目的で、毎年1回開催されております。2021年、2022年は新型コロナウイルス蔓延防止のため、中止となりましたが3年ぶりの開催となりました。

山口県土地家屋調査士会としては、「仕事紹介ブース」で午前・午後に3名が対応致しました。高校生にとっては馴染みのない職種のためなかなかブースに足を運んでくれず苦戦をしましたが、積極的に声掛けなど行い足を運んでもらいました。

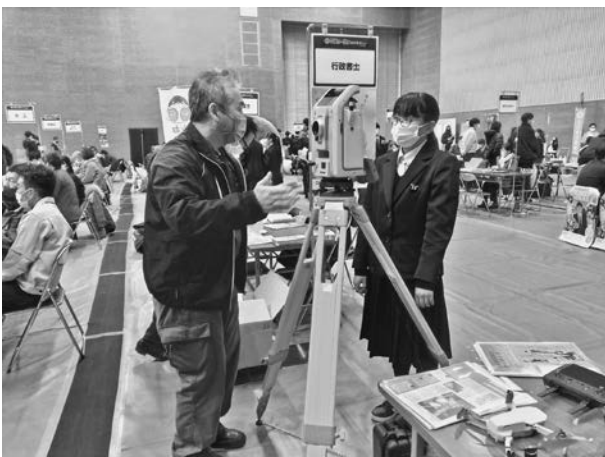
ブースでは、机と椅子を置いて待っているだけでなく、トータルステーションを持ち込んでプリズム自動追尾のデモを行いました。

そしてドローンを展示し、ドローンによる写真測量した3D点群データの映像をノートパソコンで映し出しました。比較的ドローンの写真測量について興味を持ってくれる学生が多かったと思います。

土地家屋調査士のブースに来訪した高校生に共通していたことは、「士業、自営業」に興味があって話を聴きにきたということと、「仕事の良い点、悪い点、やりがい」についての質問が意外と多かったです。仕事選びの基準に、働き方（自分の時間の使い方）と仕事のやりがいに重点を置いている人が、調査士の仕事に興味を持っているように感じました。

結果として土地家屋調査士のブースには、5組（男性8名、女性2名の計10名）が訪れました。短時間ではありましたが、調査士業務の魅力を少しでもPRすることが出来たことは、今回参加した成果であると思います。

最後に県内進学・仕事魅力発信フェア実行委員会とドローンの写真測量データをご提供いただいた山口支部和田祐二先生に感謝申し上げます。



出前授業の報告

下関工科高等学校出前授業の報告

下関支部副支部長 山田篤志

2年ぶりとなる出前授業を、令和5年2月14日（火）13時30分より山口県立下関工科高等学校にて行いました。建設工学科2年生を対象として、下関支部から4名（星本支部長、半野理事、桑田理事、私）と、協力業者の有限会社ソキワーク、有限会社宗正建設で参加しました。星本支部長の時節柄を含めたご挨拶から開始です。



授業の内容は次のとおりです。①「境界をさがせ！～3人の土地家屋調査士たち～」DVD視聴②下関支部会員のお話し③やってみよう復元測量（トータルステーション、杭ナビ）④ドローンを使用した3次元計測

①は、本会よりお借りした動画視聴になります。25分程度の動画ですが、生徒たちは居眠りすることなく、興味を持って視聴しているように見えました。私が見ても、良い内容だと思いました。プロレスラーと掛け持ちの土地家屋調査士も出演されていました。

②は、半野理事、桑田理事より、土地家屋調査士としてのご自身のことをお話しされました。実際に活躍されている土地家屋調査士の現状や思いを知る、良い機会となったと思います。授業後のアンケートを見ますと、「仕



事内容を初めて知った」「すごく責任のある仕事ですごいと思った」など、こちらの狙いどおりのものがありました。年収はどのくらいですか」「機械は値段が高いですか」「試験は難しいですか」「勉強はいつから、どのくらいしましたか」など、現実的なものもありました。この中から土地家屋調査士を目指す生徒は現れるでしょうか、期待しております。



③は、高校の授業では復元測量をしないとのことで、どのようなものか体験していただきました。トータルステーションを使用した方法と、トプコンの杭ナビというシステムを利用した後方交会法によるものです。生徒が交代で実機に触って操作し、ミラーを持って



歩き回り、雨天でなくて本当に良かったです。復元点を探す作業は楽しかった、機械の自動機能に驚いたとアンケートで感想をいただき、とても好評でした。



④は、最新ドローンの紹介と撮影を行いました。機体の安定や撮影画素数の向上と、ますます進化した機体でした。普段目にしない機器に生徒たちは釘付けでした。データ解析はその場では無理でしたので後日配布となりました。



最後に、参加者全員ドローンで記念撮影です。生徒はもちろん、工科高校先生方にも楽しんでいただけたようで大成功でした。出前研修を企画、運営、協力していただいた皆様に感謝申し上げます。



事務所紹介



岩国支部

立山良祐 事務所

柳井市古開作438番地 4

たちやまりようすけ
会員氏名 **立山良祐**

Q. 事務所の所在地について教えてください。

JR山陽本線柳井駅から車で約5分ほどの位置にあります。事務所の回りは田に囲まれており、春先からカエルの鳴き声が始まり、秋にはすずむしの鳴き声が聞こえ、BGMには事欠きません。また近隣には江戸時代、岩国吉川藩のお納戸と呼ばれ商都として栄えた白壁の街並みがあり、柳井川や土穂石川、山口百名山である琴石山にも囲まれ、自然豊かで風情のある町に事務所を構えています。(柳井には金魚ちょうちんという民芸品があるのですが、東京のすみだ水族館で飾られて以降、知名度が上がり人気のおみやげになっています。柳井に来られたら是非!)



Q. 家族構成・事務所スタッフについて教えてください。

家族は私、妻、長男(小学1年)の3人、事務所スタッフは私、妻を含め計5人です。



Q. 調査士になったきっかけは?

調査士になる前から現在に至るまで、父の跡を継ぎ、測量事務所を営んでおります。父の急死による代替わりでして、当時21歳の私には相当な不安がありましたが、40~50代の事務所スタッフたちに迷惑をかけるわけにもいかず、「どうにかなる!」と楽観的に思うことで不安に蓋をし、事務所スタッフ、周りの方々に支えていただきながら、何とか今日までやってこられました。ただ事務所スタッフも高齢化し、若手の雇用も中々進まない中で、何かもう一本自分の軸になるものはないかと模索していたところ業務上、土地家屋調査士という資格を知り、「土地建物を測る」という共通点があったことから、これならチャレンジしやすいのではと一念発起し挑戦することになりました。

しかし、ここからが地獄の始まりでした。平日は3～4時間、土日祝は10時間、毎日テキストと睨み合い、何百枚も手書きで図面を描き、三角定規は3組消耗し、電卓もボタンの文字が消えてしまうため計4台買い替えました。こんな大変な試験だとは夢にも思わず、しかし挑戦すると決めたからにはやらなければと思ひ、何とか続けました。

1回目は勉強開始から5カ月ぐらいであったため、予想通り撃沈し、2回目は建物で大ボカをし、その晩、大酒を飲み泣きました。3回目は試験翌日から勉強を再開し、合格発表の当日パソコンで自分の受験番号を見つけた時は、あまりの嬉しさに「ヨッシャー！」と腹の底から叫んでしまい、隣で一緒に見ていた妻と息子に「うるさい！」と怒られたことを覚えています。。。

受験勉強中は、家事もあまり手伝わず、遊ぶ時間もあまり作らずで、妻や息子に大分負担をかけましたが文句の一つも言わず協力してくれたお陰で合格することが出来、感謝しかありません。この場をお借りしまして、ありがとう。



Q. 使用している光波、測量ソフトなどを教えてください。

TS トプコン GT-1005 (自動追尾)、GPT-2005

GNSS 日立造船 NetSurvRE

CAD アンソ (ユート工業) コスモスAX

自動追尾だと平地であれば一人で現場作業が出来るので、重宝しています。ただ、私がTSとミラーの間に立つと、明後日の方向に向いてしまうため、器械たちの邪魔にならないよう歩くのが少し難点です。。。

Q. 調査士業務の中で一番印象に残っていることは？

隣接者の方を探している時って、自分が探偵になったような気持ちになりませんか？

とある現場で隣接者の方を調査していたところ、登記簿によると20年ほど前に相続をされており、戸籍、住民票を調査したところ年齢も60代で、まだご健在だろうなと思っていたのですが、住所地を訪れたところ雑木林に囲まれた丘の上で、草木も荒れ放題のご自宅でした。ただ本籍も現住所もその場所で、その方が亡くなられた記録も無く、朝夕を狙って張り込み？のようなこともしてみたのですが、努力の甲斐もむなしく結局見つけることが出来ませんでした。幾日か経って偶然、その近くに実家がある友人と話をする機会があり、この方のことを尋ねてみたところ、20年くらい前から刑務所の入出所を繰り返しており、家に居るのをほとんど見かけたことが無いとのこと、こういうパターンの所有者不明土地もあるんだなと変に納得させられたことです。

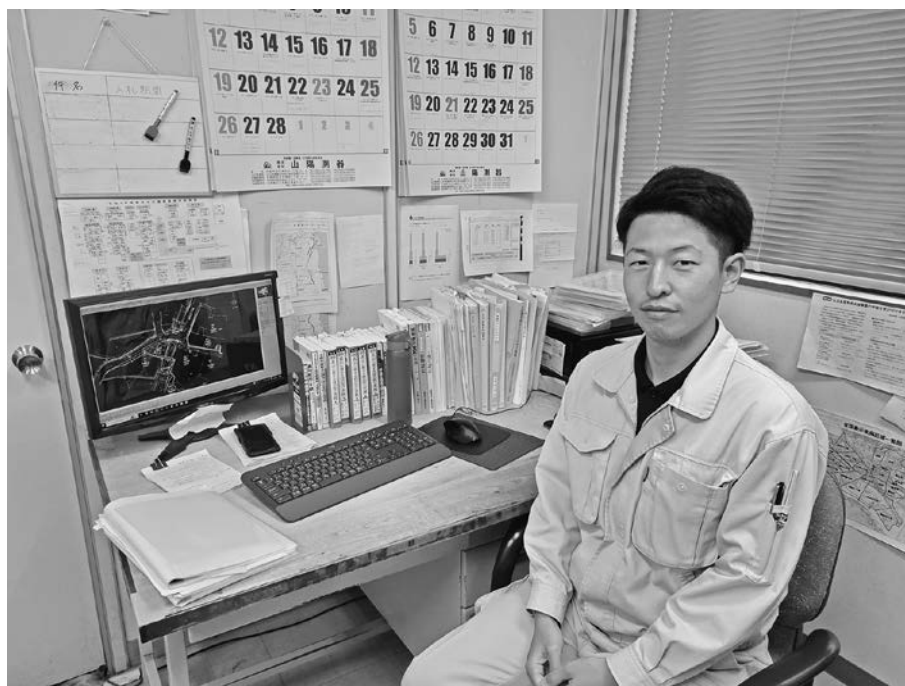
Q. 休日の過ごし方を教えてください。

調査士を開業してからは、まとまった休みを取ることが出来なくなりましたが、家族で旅行に行ったり、出掛けることが好きです。やっとコロナが落ち着いてきたことと、最近テレワークを導入したことから外出先でも業務が出来るようになったので、今年はワーケーションにチャレンジしてみようと思っています。

Q. その他

お陰様で開業5年目を迎えました。調査士業務を始めて本当に良かったなと思えるのは、お客様から直接「ありがとう。」を聞けることです。公共事業のみに携わっていた頃は、そういった経験は無かったので、「ありがとう。」と言っていたいた時は、大変嬉しく思います。調査士業務には、良い事も悪い事もありますが、お客様の「ありがとう。」が聞けるよう、これからも丁寧な仕事を心掛けたいと思います。

長々となりましたが、ご高覧いただきありがとうございますございました。



山口支部

益田正規 事務所

山口市糸米二丁目2番1号



会員氏名 ますだまさのり
益田正規

Q. 家族構成・(事務所のスタッフ)について教えてください。

家族構成は、私、妻(補助者)、子(今年から大学生)の3人です。

Q. 事務所の所在地について教えてください。

事務所は、山口市の中心部(山高裏門の目の前)です。国道9号と県道(旧国道9号)の間で閑静な住宅街の入り口にあります。



Q. 調査士になったきっかけは？

大学卒業後、地元カーディーラーで車を売っていましたが、このまま50歳になった自分を考えるとノイローゼ~になった姿しか想像できませんでした。新しい仕事を探していたのが29歳の頃、「三十にして立つ」の教を意識していたそんな折、妻の父が司法書士をしていた関係で「調査士」という資格を知りました。そこから2年間みっちり猛勉強。人生初の経験でした。



Q. 趣味・特技・自慢・(最近ハマっていること)などについて教えてください。

趣味はもちろんゴルフです。同期開業の司法書士に誘われたのがきっかけで、始めてもうすぐ20年になります。ゴルフは、運動神経(特に足の速さ)に関係なく誰でもできるスポーツで、元気があれば一生できるっていうのも魅力です。天気の良い日に壮大な景色の中、良い球が打てたときの感動は、何とも言い難い気持ち良さです。また、道具やウェア・小物に至るまで、こだわりのコレクションを集めるのも楽しみの一つです。

Q. 座右の銘、好きな言葉、尊敬する人物等について教えてください。

「負けるが勝ち」です。幼少期に祖母が耳に聾がができるほど言っていたのを思い出します。



対人関係において、損得や勝ち負けへのこだわりが強すぎると上手くいかないこともあります。時には見栄やプライドを捨てることも大切ではないかと思います。

Q. 調査士として、これだけは譲れないポリシーやこだわりはありますか？

仕事においては、高い意識とプライドを持ち、業務に専念することです。

Q. 将来のビジョンについて教えてください。

私も今年で50歳を迎えました。私の中での調査士業は折り返し地点を過ぎたと思います。「五十にして天命を知る」には至っていませんが、今までを振り返り、これからについても少し考えるようになりました。現在、事務所のリノベーション工事をしています。6月から新しい事務所で仕事ができるよう準備しています。完成したら気持ちを新たに頑張ろうと思います。





Q. 使用している光波、測量ソフト等を教えてください。又、その良いところは？

少し古いLeicaライカのトータルステーション、測量ソフトはアンソのコスモスAXと福井コンピュータのTREND-ONE。ライカの良いところは、手動でターゲットを視準する際、縦横同時にダイヤルを回せるので斜めに動かせる点です。コスモスAXは、同じ座標系で作成した図面ならボタン一つで瞬時に重ねることができる点です。



Q. その他（題材はご自由に）

近年は仕事に追われる日々を送っており、たまの休みにはゴルフを入れるため、休日にゆっくり過ごすことがほとんどありませんでした。この春から息子が一人暮らしを始めたことで、妻と二人の時間が増えました。これを機に、今までできなかったことをしてみたいと思います。まずは四国制覇あたりからチャレンジしてみよう！

事務局だより

会員異動状況

1. 会員入会状況

	ふりがな 氏名 (生年月日)	入会 年月日	事務所	TEL	FAX
	せぐち じゅんじ 瀬口 潤二 (S23.10.27)	R5.3.1 (再入会)	〒756-0811 山陽小野田市稲荷町9番14号	(0836) 83-2845	(0836) 83-2868
	たむら たけひさ 田村 武久 (S55.5.17)	R5.3.20	〒741-0061 岩国市錦見五丁目16番30号	(0827) 41-0852	(0827) 43-3157
	すわ よしのり 諏訪 吉徳 (S48.9.2)	R5.5.1	〒759-6317 下関市豊浦町大字涌田後地13番地6	(083) 775-4285	(083) 775-4288

◆新入会員よりひとこと

田村武久 会員

父親の土地家屋調査士事務所補助者として、勤務してまいりましたが、この度、土地家屋調査士会に入会させて頂きました田村武久と申します。

至らぬ点も多々あると思いますが、日々精進し頑張っておりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。

諏訪吉徳 会員

この度、山口県土地家屋調査士会に入会させていただきました諏訪吉徳と申します。

これからは、先輩方のご指導を仰ぎながら、調査士としてのスキルや知識を高めていきたいと考えております。どうぞよろしくお願ひいたします。

2. 会員退会状況

支 部	地 区	氏 名	退会年月日	備 考
宇 部	宇 部	河合 佑一	R5.4.28	廃業
周 南	周 南	宮崎 晴雄	R5.4.18	死亡

訃 報



周南支部 宮崎 晴雄 会員
昭和20年9月1日生(享年77才)
昭和46年7月9日入会
令和5年4月18日逝去

謹んで哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈り致します。

3. 会員数

令和5年5月1日現在会員数

会員数 203 法人数 3

4. 事務所変更

支 部	氏 名	変 更 年月日	変 更 後		
			事務所	TEL	FAX
下 関	沖潮 宗男	R4.6.6	〒751-0816 下関市椋野町二丁目12番37号	—	—

会務報告

開催日	会 務	場 所
1月6日(金)	法務局への新年挨拶	山口地方法務局
1月13日(金)	第4回本部研修会	(ウェブ研修)
1月16日(月)	非調査士告発に関する報告	山口地方法務局
	宇部市住宅課との協議	調査士会館
1月18日(水)	会報編集会議	調査士会館
1月18・19日 (水・木)	全国会長会議	東京都
1月20日(金)	山口県社会保険労務士会賀詞交歓会	山 口 市
1月24日(火)	日調連ADR担当者会同(電子会議)	調査士会館
1月25日(水)	第5回業務部会	(電子会議)
	第5回本部研修会(本会と公嘱協会の合同研修会)	山 口 市 (ウェブ研修)
1月26日(木)	法務局不動産登記部門と山林地図検討委員会との協議	調査士会館
	山林地図検討委員会	調査士会館
1月27日(金)	第3回理事会	山 口 市
2月2日(木)	日調連全国広報担当者向けセミナー	(電子会議)
2月3日(金)	九州ブロック会長会議	福 岡 県
2月7日(火)	第1回選挙管理委員会	(電子会議)
2月8日(水)	境界問題相談所開設	山口地方法務局 宇部支局
	山口法律関連士業ネットワーク理事会	山 口 市
2月9日(木)	第2回財産管理人支援センター運営委員会	調査士会館
	宇部市住宅政策課との協議	調査士会館
2月10日(金)	筆界特定制度と土地家屋調査士会ADRとの連携についての協議会	調査士会館
	第3回境界問題解決支援センター運営委員会	調査士会館
2月14日(火)	2023県内進学・仕事魅力発信フェアinやまぐち	山 口 市
	出前授業(下関工科高等学校)	下 関 市
2月15日(水)	第6回業務部会	調査士会館
	第1回役員推薦委員会	調査士会館
	第4回総務部会	調査士会館
2月16日(木)	第3回広報部会	(電子会議)
2月20日(月)	銀行担当者向け研修会(西京銀行本店)	周 南 市
2月21日(火)	第2回IT準備委員会	調査士会館
2月27日(月)	本部研修会講師との打合せ会	大 阪 市
2月28日(火)	土地家屋調査士試験合格証書交付式	調査士会館
3月3日(金)	中国ブロック協議会役員会議	広 島 市
3月6日(月)	銀行担当者向け研修会(山口銀行徳山支店)	周 南 市
3月8日(水)	日調連業務マニュアル等に関する説明会(電子会議)	調査士会館
3月9日(木)	第7回業務部会	(電子会議)
3月14日(火)	第4回広報部会	調査士会館
3月19日(日)	土地家屋調査士ガイダンス	調査士会館
3月20日(月)	登録証交付式	調査士会館
	中国ブロック協議会定例総会実行委員会	調査士会館
3月23日(木)	登録証交付式	調査士会館
	山口地方裁判所へ財産管理人候補者名簿を提出	山 口 市

開催日	会 務	場 所
3月26日(日)	藤井耕治氏、戸田敬三氏黄綬褒章受章祝賀会	倉 敷 市
	表示登記の日無料相談会	宇 部 市
3月28日(火)	山口地方法務局長退任ご挨拶	調 査 士 会 館
3月29日(水)	第5回総務部会	(電 子 会 議)
3月30日(木)	宇部市住宅課との協議	調 査 士 会 館
4月1日(土)	表示登記の日無料相談会	県 下 2 会 場 (平生町、防府市)
4月3日(月)	表示登記の日無料相談会	県 下 4 会 場 (周南市・山口市・ 長門市・下関市)
4月4日(火)	第2回役員推薦委員会	(電 子 会 議)
4月6日(木)	決算監査会計書類確認作業	調 査 士 会 館
4月7日(金)	本会と公嘱協会の協議会	調 査 士 会 館
	予算見積協議	調 査 士 会 館
	山口地方法務局長就任ご挨拶	調 査 士 会 館
4月11日(火)	決算監査	調 査 士 会 館
	第1回財務部会	調 査 士 会 館
4月12日(水)	境界問題相談所	山口地方法務局
	山口地方法務局不動産登記部門就任ご挨拶	山口地方法務局
4月14日(金)	第1回本部研修会	山 口 市
4月18日(火)	第1回常任理事会	調 査 士 会 館
4月22日(土)	防府支部総会	防 府 市
4月24日(月)	山口法律関連士業ネットワーク理事会	山 口 市
4月25日(火)	中国ブロック協議会定例総会実行委員会	調 査 士 会 館
	第1回理事会	調 査 士 会 館
4月27日(木)	会報編集会議	調 査 士 会 館
4月28日(金)	岩国支部総会	岩 国 市

補助者のみなさま、会員のご家族のみなさま

東京法経学院の土地家屋調査士講座が お安く受講できます！

山口県土地家屋調査士会は、日本土地家屋調査士会連合会中国ブロック協議会を通じ、東京法経学院と協定を結んでおります。この協定は会が推薦する方は、割引が適用された受講料で東京法経学院の講座が受講できるというものです。



補助者のみなさまや会員のご家族の皆様にも、ぜひこの制度を利用して土地家屋調査士を目指していただきたいと思っております。

割引後の受講料一覧は事務局にございます。また受講を希望される方は、会より推薦書を発行しますので、会員を通じて事務局までお申し出下さい。

なお、当会会員の方で、他士業の資格の講座を受ける際にも割引が適用される可能性がありますので、事務局までお申し出下さい。

購入代金の一部助成が今年度で終了します！

土地家屋調査士オリジナルウェア販売中

鹿児島会が作製した、土地家屋調査士オリジナルウェアの購入に際し、カタログ定価の2割を会で助成します。「土地家屋調査士」とスタイリッシュなロゴが入ったポロシャツや作業着は、立会の際など土地家屋調査士であることが分かりやすいと、好評です。

なお、この購入代金の一部助成は本年度をもって終了いたします。購入を検討されている方は、ぜひ本年度中にお申し込み下さい！（予算の上限に達した場合、年度途中であっても助成は終了となります）

来年度以降は、販売会社である「ワーカホリック」へ直接ご注文いただくことで、購入することは可能です。引き続きこのウェアを活用いただきますようお願いいたします。

カタログ、注文書はホームページの会員のページにアップされています。事務局にもございますので、お気軽にお問い合わせ下さい。



例えばこちらの半袖ポロシャツ（Mサイズ黒）の場合、税込み3,300円の商品が、会からの600円の助成により2,700円で購入できます！

広報部より

編集後記

2年前に広報部長となり、任期の2年が経過しました。乗川副会長をはじめとして荒川理事、廣石理事、事務局の協力のもと、「会報やまぐち」の発行をはじめとして山口会の広報活動を行いました。新型コロナウイルスの影響により高校生への出前従業を行うのが難しい面もありましたが、今回、広報部の新たな取り組みとして銀行担当者向け研修会、調査士会員数増加のための土地家屋調査士ガイダンスを行い、充実した内容でした。

今後も何年かに一度は、これらを開催して、土地家屋調査士のPRに繋がれば良いと思います。

（広報部長 西村暢夫）



発行 山口県土地家屋調査士会
〒753-0042 山口市惣太夫町2番2号
電話 (083) 922-5975
FAX (083) 925-8552
ホームページ <http://www.chousashi.net/>
Eメール yamatyo@chousashi.net
発行者 山口県土地家屋調査士会
会 長 杉山 浩志
広報担当副会長 乗川 慎二
広報部長 西村 暢夫
理 事 荒川 猛
印刷所 大村印刷(株)



山口県土地家屋調査士会

〒753-0042 山口県山口市惣太夫町2番2号
TEL083-922-5975 FAX083-925-8552
ホームページ<http://www.chousashi.net/>
Eメールyamatyo@chousashi.net